

統合開発環境 CubeSuite+ のRL78ファミリ用 デバッグ機能ご使用上のお願い

CubeSuite+ のRL78ファミリ用デバッグ機能の使用上の注意事項を連絡します。

- オンチップ・デバッグでリアルタイムRAMモニタ機能を使用する場合の注意事項

1. 該当製品

- CubeSuite+ 共通部分がV1.02.00であるCubeSuite+
- CubeSuite+ 共通部分がV1.02.00であるCubeSuite+ 評価版

上記に含まれるRL78ファミリ用デバッグ機能が、以降の問題に該当します。

2. 内容

RL78ファミリMCU搭載システムを、CubeSuite+ 共通部分V1.01.01以前でオンチップ・デバッグした後、該当製品でデバッグする場合、リアルタイムRAMモニタ機能をONにしてデバッグ・ツールとの接続機能を実行すると、以下のエラーが出て接続できない場合があります。

ダウンロードに失敗しました。

[エラーの直接原因]

拡張モニタ領域が使用中のためモニタ・コードを書き込めません。(E1203128)

3. 回避策

以下のいずれかの方法で回避してください。

なお、いずれの方法でも一度接続機能を実行すれば、以後エラーは発生しません。

(1) 該当製品でオンチップ・デバッグする際に、リアルタイムRAMモニタ機能をOFFにしてから、デバッグ・ツールとの接続機能を実行する。

リアルタイムRAMモニタ機能は、接続後にONにする。

(2) ライタでフラッシュメモリ全ブロックの消去を行ってから該当製品でオンチップ・デバッグする。

4. 恒久対策

CubeSuite+ 共通部分 の次期バージョン (2012年7月リリース予定) で改修する予定です。

なお、リリースまでに対策が必要な場合は、以下のWebページからご相談ください。

技術問合せ : <https://www.renesas.com/support/contact.html>

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。